

勇壮な山車と力強い太鼓、青森ねぶたと
秋田竿燈の応援に奮い立つ 復興への思い

2年ぶりの開催となった今年は、思いもひとしお。福島市の元気を全国に発信しようと国道13号を会場にして行われた祭りには、福島市内と伊達市内から計16台の山車が参加。息の合った引き回し、力強い太鼓と笛の演奏を披露しました。各町会自慢の山車が練り歩く姿や、無数のちようちんが夕闇に浮かび上がる美

しい姿に沿道からはたくさんの歓声が沸きました。さらに今回は、青森ねぶたと秋田竿燈が一日も早い復興を祈念して特別参加。青森ねぶたの勇壮華麗な姿、秋田竿燈の妙技に、沿道を埋め尽くしたたくさんの人たちは、威勢のいい掛け声で共に祭りを盛り上げました。



▲秋田の竿燈。肩・額・腰に乗せる見事な技に沿道の観客から歓声が上がりました



▲青森ねぶたと元気いっぱい跳ねるハネト。福島市で募集した約70人が参加しました



復活!! 2012 山車フェスタ

福島の
 元気と笑顔を
 全国に発信!

今年6月2日、2年ぶりにふくしま山車フェスタが開催されました。毎年、ふるさとの歴史と伝統を感じることが出来る祭りですが、昨年は、東日本大震災の影響で中止に。今年、震災からの復興を支援するため、青森ねぶた、秋田竿燈も特別参加しました。

ふくしま山車フェスタは、平成19年に行われた市制施行100周年記念事業の一つとして、市内各地区で代々引き継がれてきた自慢の山車が集結し練り歩いた「祝賀山車フェスティバル」をきっかけにスタートしました。